

茨城県議会議員

とこい洋治 県政報告NEWS

21世紀の新しい県政をめざし 全力投球でスタート!!



▲新県庁をバックに県政推進への決意を新たにする常井洋治県議 (3月24日竣工式において、右後方は県議会議事堂)

総務企画委員会 決算特別委員会 で活躍

昨年12月の県議選で西茨城郡でトップ当選した常井洋治が1月8日初登庁し、多くの支持者の見守るなか、議員章の交付を受け、茨城県議会議員として本格的に活動を開始しました。

8日は会派結成届が県議会事務局に提出され、定数66名で構成される県議会の新勢力分野が決まりました。常井洋治は、無所属のまま、同じ無所属の赤羽直一議員（北相馬郡選出）と清新クラブを結成。民主党所属の5人の議員とともに7人で議会内会派「民主党・清新クラブ」を結成しました。県議会は19日、本会議を開き各常任委員会の委員を選出しました。

常井洋治は、県政全般を掌握する、総務企画委員と決算特別委員に選出され、就任しまし



一緒に創ろう！ ふるさと西茨城郡の新時代

初議会を終えて

平成11年第1回茨城県議会定例会は、2月18日から3月15日まで26日間開かれ、平成11年度予算及び10年度補正予算など90件の議案を可決して閉会しました。常井洋治県議は、新人らしく、さわやかな論戦を繰り広げ、かつ県職員としての経験を十分に活かして、委員会質疑を通して、西茨城郡地域のためにも大きな成果を挙げました。

平成11年度一般会計予算を可決

1兆769億7千2百万円

(10年度当初比4.1%マイナス)

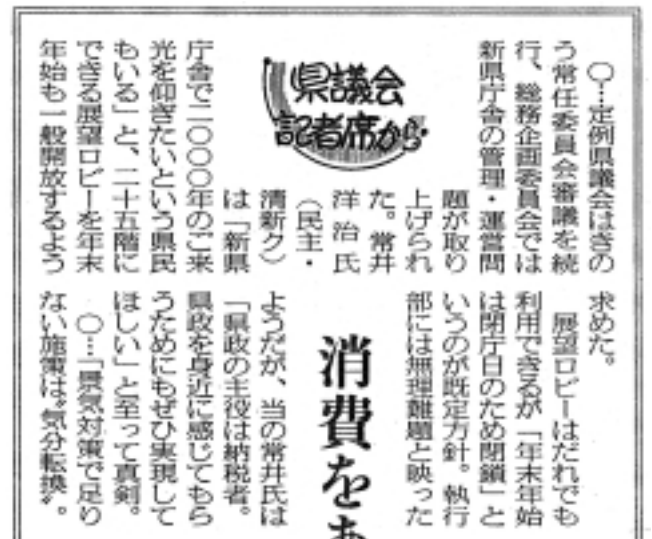
予算の特徴

1. 税収は10.9%減(10年度当初比)と初めて2桁の減となった。
特に法人二税(法人県民税・法人事業税)は約850億と見込まれ、ピークであった平成3年度の約1,500億円に比べ約650億円も少ない。
2. 県債発行残高(1兆2,396億円)が一般会計予算を初めて上回る事となった。
3. 公債費が1,000億円を超え、この10年間で最も多くなった。

常井県議は可決に賛成

景気の低迷による大幅な税収不足により、県財政も厳しい状況となっていますが、福祉、医療、教育や景気対策などに重点をおき、工夫を凝らしていることを評価して常井県議は、可決に賛成しました。

委員会では、前向きの答弁が得られませんでした。その後知事も含めて再検討した結果、4月から暫定的ではありますが、県民情報センターを無休で解放することになった旨の報告がありました。当然のことではあります。同委員の熱意に対する知事はじめ、執行部の理解と英断に敬意を表する次第です。



茨城新聞 1999.3.4掲載

総務企画委員会(要約)

畜産試験場跡地利用で 県が関係町村との連携を強化

常井委員は、平成12年度に移転する畜産試験場の跡地利用について、友部町を中心とした関係町村で検討した経緯はあるが、これまで県は何の指針も方向も示して来なかったことを取り上げ、今後は、地主としても、また広域的な地域振興の推進役としても県が入って一緒に検討すべきだと質しました。

これに対し、県執行部は、地元から働きかけがあれば、今後関係町村とも連携を密にしながら詰めていきたいと前向きな姿勢を示しました。また同委員は、移転後跡地利用決定までの空白期間にゴミや荒地化などの環境悪化を避ける観点から、暫定利用を含めて早期検討を主張したのに対し、県執行部は、地元から要望があれば、関係課とも協議し、相談に乗ってまいりますと答弁をしました。

県民本位の新県庁舎利用に大きく前進

常井委員は、新県庁舎の県民情報センターの土・日・祝日の休日解放と25階展望ロビーの年末年始(特にお正月)の解放など、県民＝納税者の視点に立った運営を強く求めました。

決算特別委員会(要約)

友部病院の改築へ 早期結論を求める

決算特別委員会では、平成9年度の決算審査を順次行っています。常井委員は、衛生部門審査で友部病院の改築検討状況について質しました。その中で①同病院は、昭和35年の建築で老朽化が著しく患者にはもとより職員にも劣悪な環境であること。②不使用の建物は、外観上問題があること、などの現状を挙げ、平成5年に改築の基本計画が策定され基本設計がされたにも拘らず、その後全く進展がないことを踏まえて、今後の方策を迫りました。これに対し、執行部は、基本計画の見直しや県立病院のあり方等について点検している段階であり、改築を中止したものではないと答えました。同委員は、児童・思春期外来の増加に対応した新しい病院として、期限を切った検討を行い、早期に改築へ向けての結論を出すよう強く求めました。

(※常井県議は、この他に多くの質問をしており、提案型の県議として評価されましたが、発言内容については、各委員会議事録をご覧ください。県議会図書室で閲覧できます。)

〈岩間～吾国山洗心館の開通をめざす…〉



▲常井県議は岩間町上郷地区で通行不能になっている南指原岩間停車場線を開通させ笠間、岩瀬、つくば方面と直結させ、岩間に新風を吹き込みたいと意欲的に取り組んでいます。
(県土木部職員と現地調査)

要望に応じて… —とこい洋治は、直ちに行動します—



▲畜産試験場跡地(39.2ha)は友部町を中心とした広域的地域の活性化の起爆剤として活用するべきだと常井県議は特に熱心に取り組んでいます。



▲県道の通行危険個所の解消に常井は特に力を注ぎます。(県道上吉影岩間線・岩間町内)



▲友部駅前通りの交通混雑を解消するため、環状道路の整備促進は急務です。常井県議は地権者の理解を得ながら、都市計画道路宿大沢線の事業化を推進していきます。(鴻巣高架橋)



▲拡幅工事の進む県道富谷稲田線で、排水処理の問題に対応する常井県議(岩瀬町内)



▲第1回定例会終了後県職員時代から思いでの多い旧庁舎の知事室に橋本知事をたずね、西茨城郡の振興を改めて要望した。橋本知事から真剣に取り組む意向が示された。



▲1月8日の初登庁で緊張の面もちで議員章を付けてもらう常井洋治県議 (東京新聞掲載写真より)

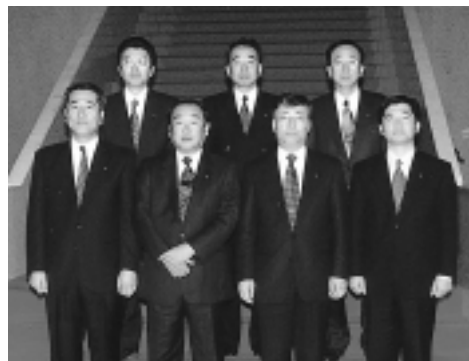


▲1月8日「連合茨城新春の集い」であいさつする常井県議 (中央) 左から民主党の細田県議、公明党の足立、鈴木、井出県議とともに。

〈県議会第二会派〉

「民主党・清新クラブ」活動開始!!

常井洋治は政党は無所属ですが、県民の視点に立った政策の実現に向けて、より大きな活動を展開するため、7人で新会派「民主党・清新クラブ」を結成しました。同クラブは自民党(53人)に次ぐ第二会



▲民主党・清新クラブ議員団
前列左から、長谷川修平団長、細田武司幹事長、今一男、海野隆
後列左から、飯泉淳、赤羽直一、常井洋治

派となり、4人以上の会派に与えられる代表質問権を確保しました。会派名はさわやかで新しい県政を求める思いを込めてつけました。7人はいずれも気鋭の論客ぞろいで民主的な運営をしています。

常井洋治は今後この会派を舞台に活躍してまいります。

燃える郷土愛。全力投球!!

皆様のご支援により、県議としてスタートし3ヵ月近くなりますが、私は皆様から頂いた13,630票の重みをしっかりと受け止めながら、日々新たな気持ちで議会活動に専念しております。私は新人らしく正々堂々と、西茨城郡はもとより、県政全般に亘って課題をとらえ、解決に向けて論陣を張ってまいりたいと心がけております。

私は選挙時にお約束したとおり「皆さんと共に考え、行動する」基本姿勢を貫いてまいります。どうか地域の

問題については、遠慮なくお申し付けください。

常井洋治は、皆様のご御用聞きに徹し、その声を県政に反映させてまいります。今後とも引き続き絶大なるご支援をお願いいたします。

茨城県議会議員 常井洋治

(自宅) 西茨城郡岩間町押辺1745

TEL.0299-45-6818 FAX.0299-45-0818